

# 図書館だより 6月号

川之石高校図書委員会



県総体も終わり、3年次生はこれから進路実現に向けての取組が本格的に始まります。少しでも本を読む時間を見つけ、教養を深めてみませんか。

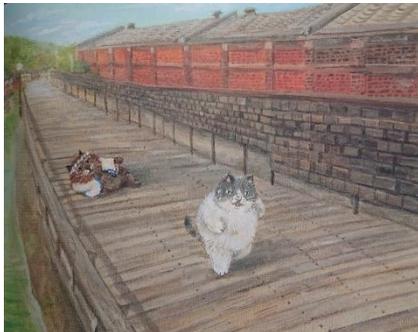
今回20冊あまりの新刊本が図書室に入りました。また、読書感想文コンクールの課題図書も入っています。皆さんのリクエストした本も何冊か購入していますので、これからも読みたい本があれば「リクエスト本記入用紙」に記入し、図書室の箱に入れてください。

## 【新刊紹介】

『かなしきデブ猫ちゃん』

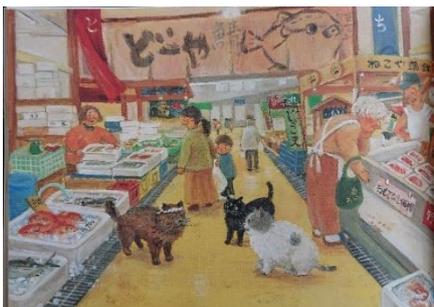
『かなしきデブ猫ちゃん フルの秘密の泉』

『かなしきデブ猫ちゃん フルのラストダンス』



このシリーズは、小説家早見 和真さんと今治市出身の絵本作家かのう かりんさんによる創作童話シリーズです。愛媛新聞で毎週土曜日に連載されていたので、読んだ人も多いのではないのでしょうか。

デブ猫〈マル〉が愛媛県内各地を旅し、さまざまな経験を重ねながら成長していく姿を描いており、第1弾では〈佐田岬〉、第3弾「マルのラストダンス」では〈どーや市場〉や〈もっきんろーど〉など、身近な場所が登場しています。絵も多く読みやすい本となっておりますので、ぜひ手に取って読んでみてください。



今年4月からは神戸新聞で兵庫編がスタートしており、愛媛新聞でも引き続き毎週土曜日に掲載されています。



## 【課題図書を紹介】

### 『その扉をたたく音』 瀬尾 まいこ 著

29歳無職、夢はミュージシャン。怠惰な日々を送る宮路は、演奏に訪れた老人ホームで「神様」に出会う。人生の行き止まりで立ちすくんでいる青年と、人生の最終コーナーに差し掛かった大人たちが奏でる感動長編。



### 『建築家になりたい君へ』 隈 研吾 著



10歳で建築家を志し、国内外で多数のプロジェクトをてがける今もっとも注目の建築家が建築知識満載で綴る10代へのメッセージ。建築家とは、そしてこれからの建築とは――。

### 『クジラの骨と僕らの未来』 中村 玄 著

小さな頃から生き物が大好きだった著者は、中学2年生の時、骨格見本に興味を持ち、死んでしまったペットのハムスターの墓あばきを思いつきました……。クジラ博士となった研究者の骨からはじまったストーリー。



## 【5月 月間図書貸出冊数】

〈クラス別〉

5月2日～5月31日

1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3
2冊	12冊	31冊	9冊	10冊	8冊	7冊	27冊	15冊

〈個人別〉

- 1位 19冊 東海林 茉莉 (3-2)
- 2位 12冊 前田 結衣 (3-3)
- 3位 10冊 清水 美愛 (1-3)
- 4位 8冊 山川 涼平 (1-3)
- 8冊 瀬戸 桃佳 (2-1)
- 8冊 大和 桃嘉 (2-2)
- 8冊 吉見 彩花 (3-2)



5月は連休があり、開館日が少なかったにもかかわらず、多くの図書の貸出がありました。これからも積極的に図書室を活用してください。

**反省せずに読むことは、消化せずに食べるようなものだ。**

**エドマンド・バーク (アイルランド生まれの哲学者／1729-1797)**